

鑑賞教育における題材化の検討 地域から世界への視点 』

Observations on Developing Subject Matter in Art Appreciation Education : From Region to the World

蝦名敦子

地域の文化財からさらに世界に目を向け、鑑賞教育の目的を美術文化の理解に求めた新たな研究である。身近な文化財を活用しつつ、同時代の世界の作品を対比的に鑑賞する。その第1段階として、小・中学生を対象とする題材化の可能性について検討した。学習指導要領から学習課題を検討し、社会科との教科の関連を考察したが、本テーマはタイムリーで活用性のある内容であることが判明する。鑑賞作品については5つのトピックスを抽出し、学習課題との連関を考察しながら、作品を古代の韓国、中国、ペルシャ、ギリシャの国々から大まかに選定した。